

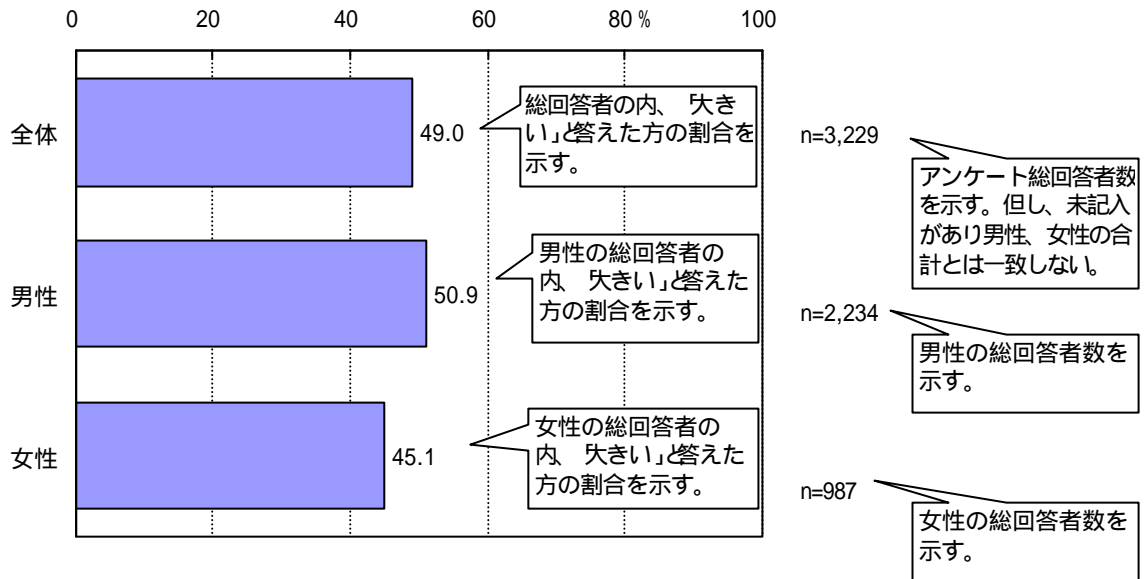
-2. 属性別集計結果

以下に属性別（性別、年代別、地区別、距離別、県別、徳島県内上下流別）に見た結果を示す。

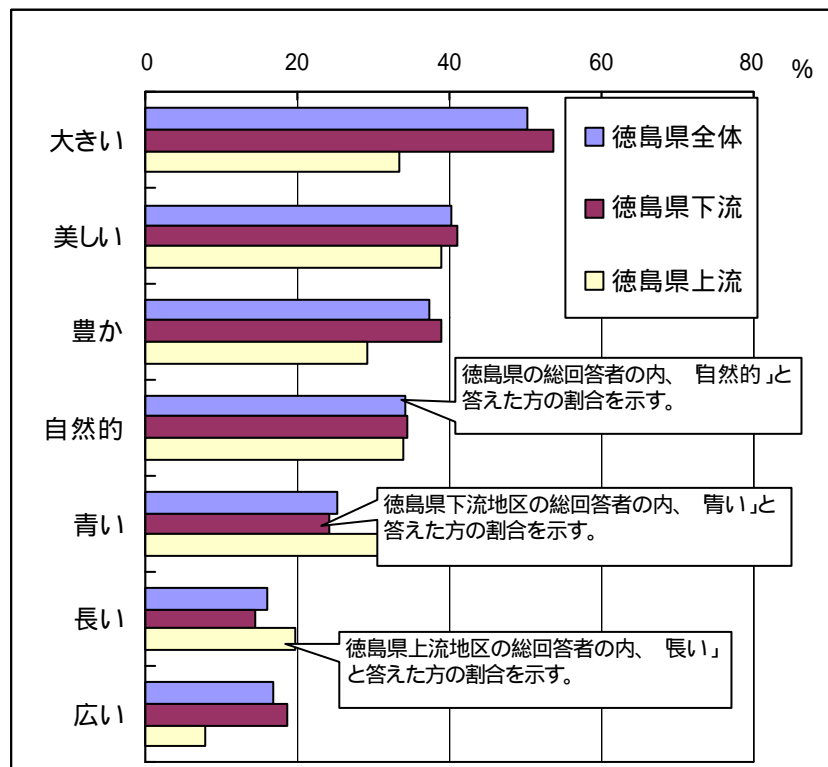
また、次頁以降に示す図の見方の例として、図 -2 及び図 -7(一部)を参考として示す。

《参考》

[1] 吉野川のイメージ「性別」(図 -2)の見方



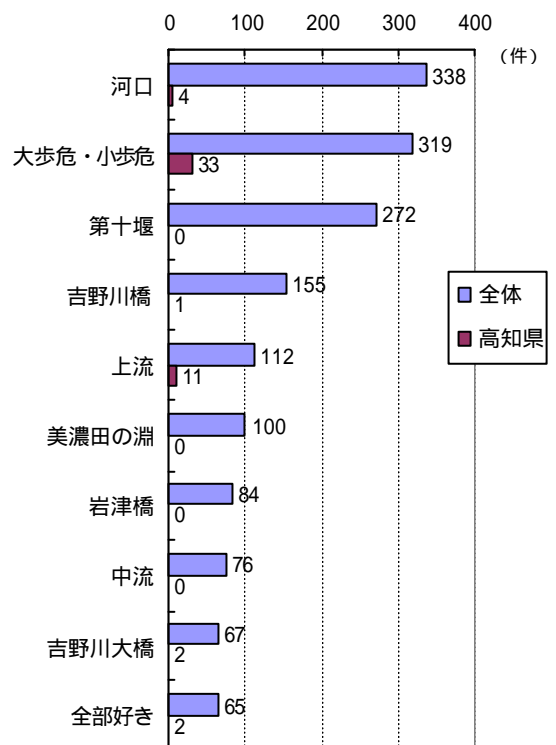
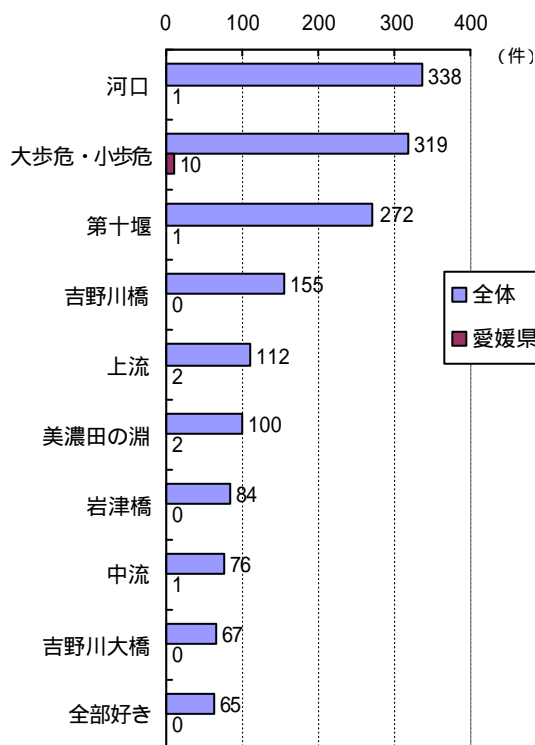
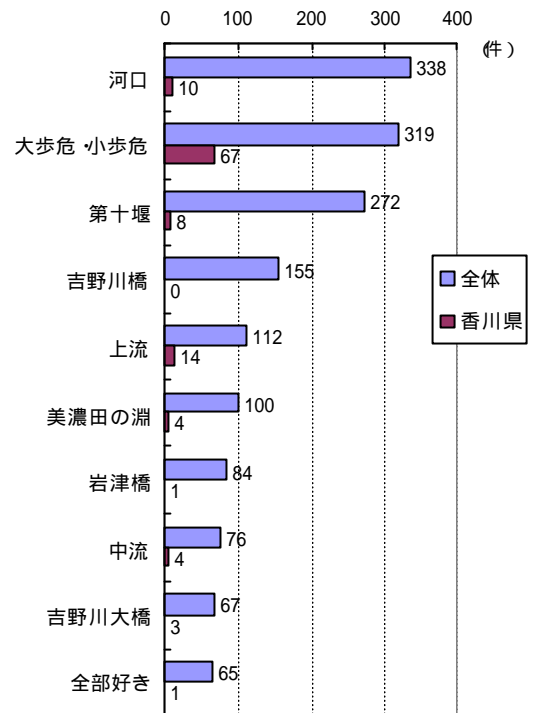
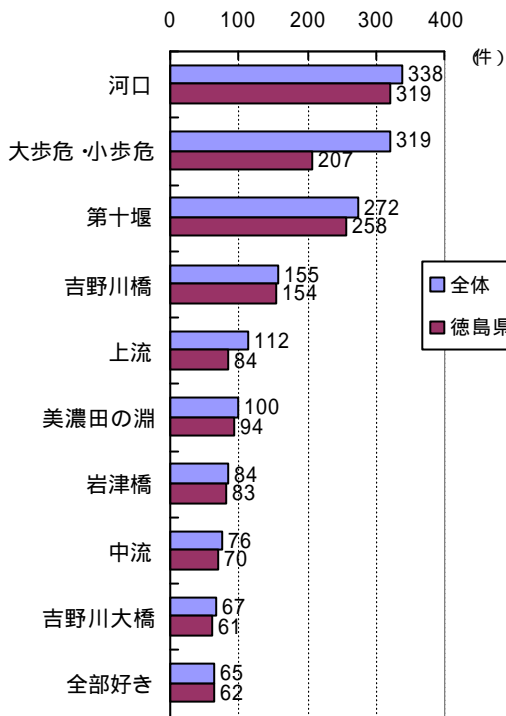
[6] 吉野川のイメージ「徳島県内上下流別」(図 -7)の見方



1.吉野川の大好きな場所

・吉野川の大好きな場所について上位10項目までを県別にみた結果を示す。

[1]吉野川の大好きな場所「県別」(図 - 1)



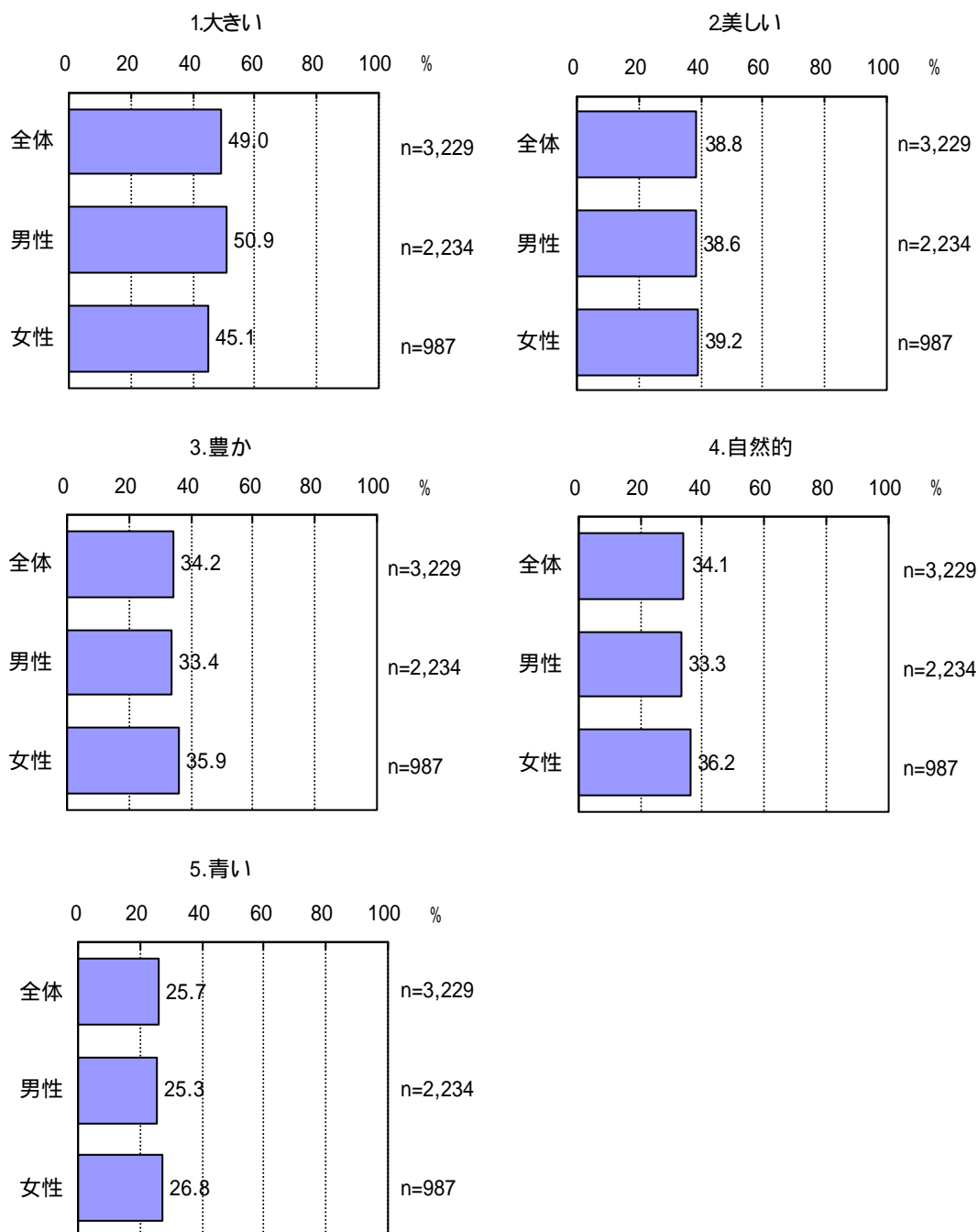
・大好きな場所について県別に見ると、徳島県では「河口」をあげた人がほとんどです。

・香川県、愛媛県、高知県では、大歩危・小歩危をあげる人が多くなっている。

2.吉野川のイメージ

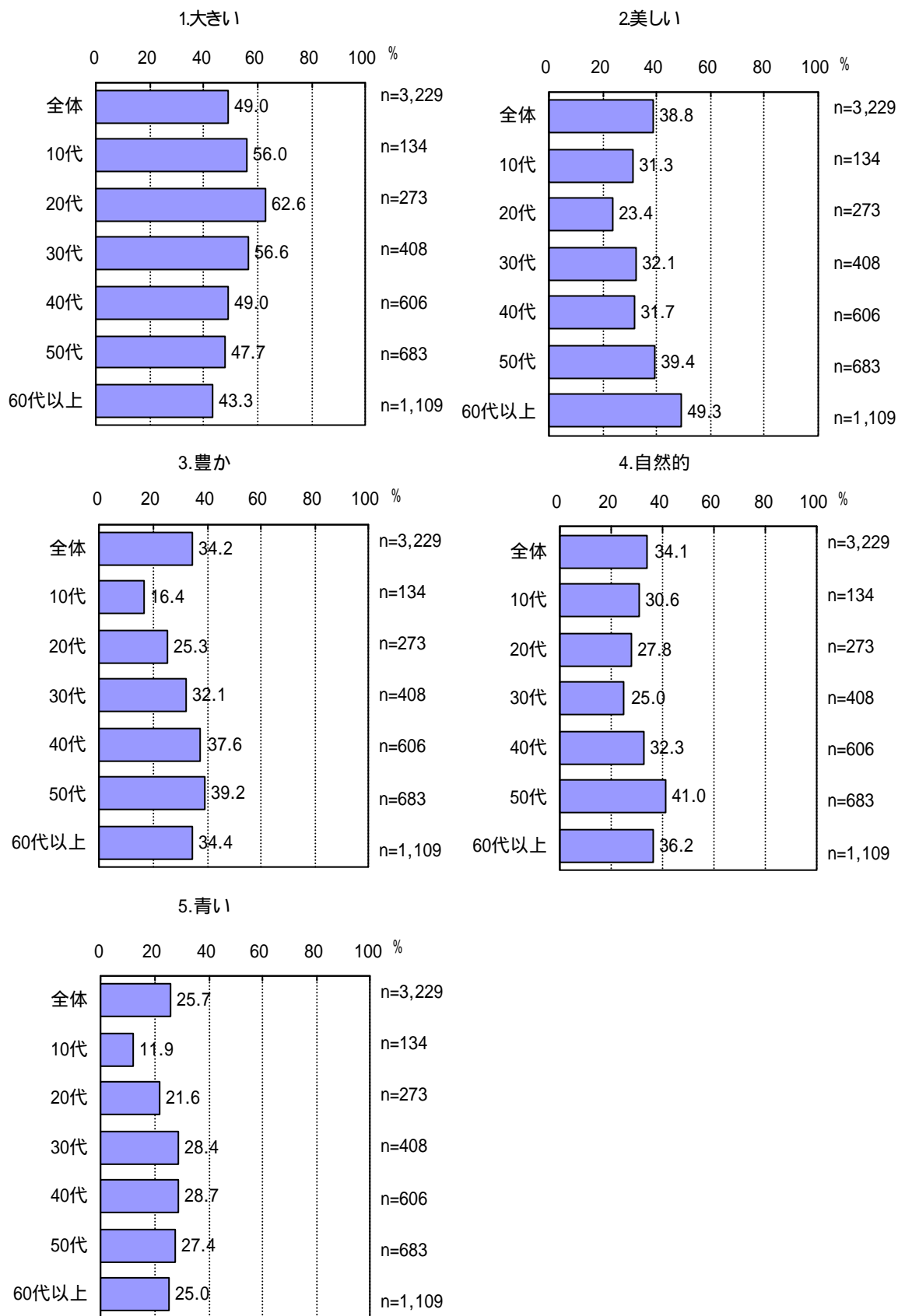
・吉野川のイメージについて上位5項目までを属性別にみた結果を示す。

[1]吉野川のイメージ「性別」(図 -2)



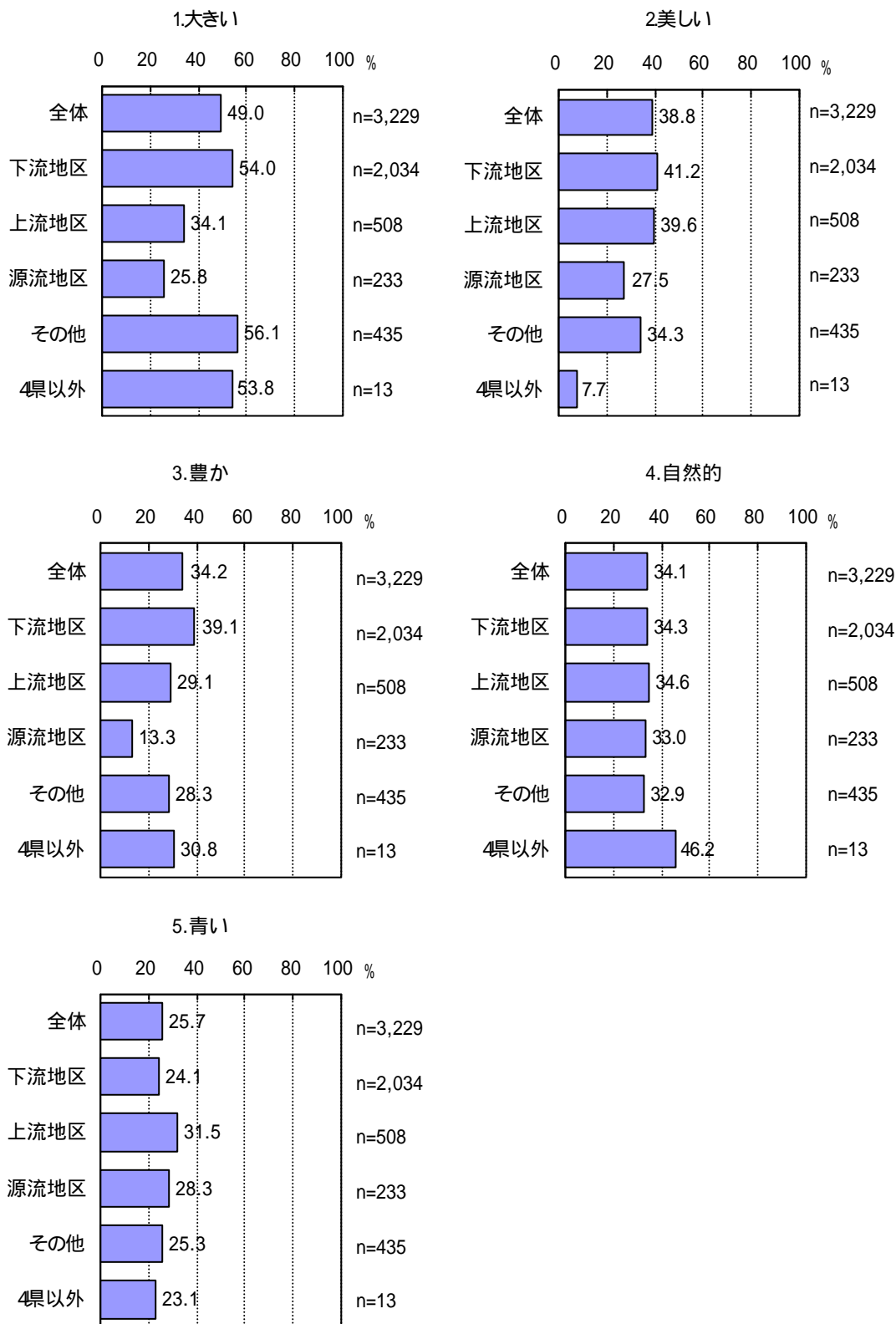
・吉野川のイメージについて、回答者全体の回答割合が多かった「大きい」「美しい」「豊か」「自然的」「青い」の5項目について、性別の回答傾向を見たところ、男女差はほとんどない。

[2]吉野川のイメージ「年代別」(図 -3)



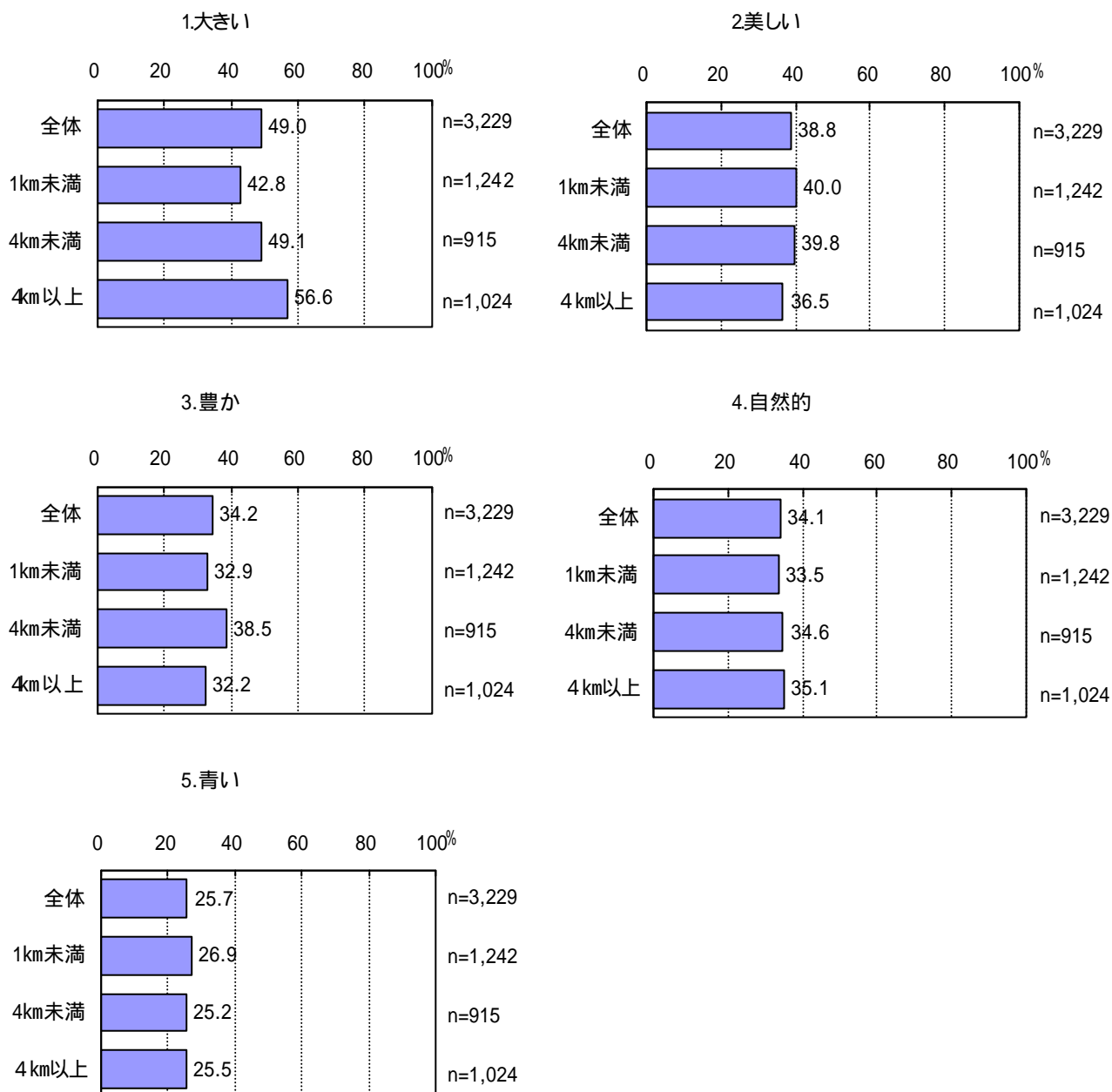
・年代別に見ると、「大きい」とする人の割合は 10代、20代、30代に多くなっている。
一方「美しい」「豊か」「自然的」では 50代以上の割合が多くなっている。

[3]吉野川のイメージ「地区別」(図 -4)



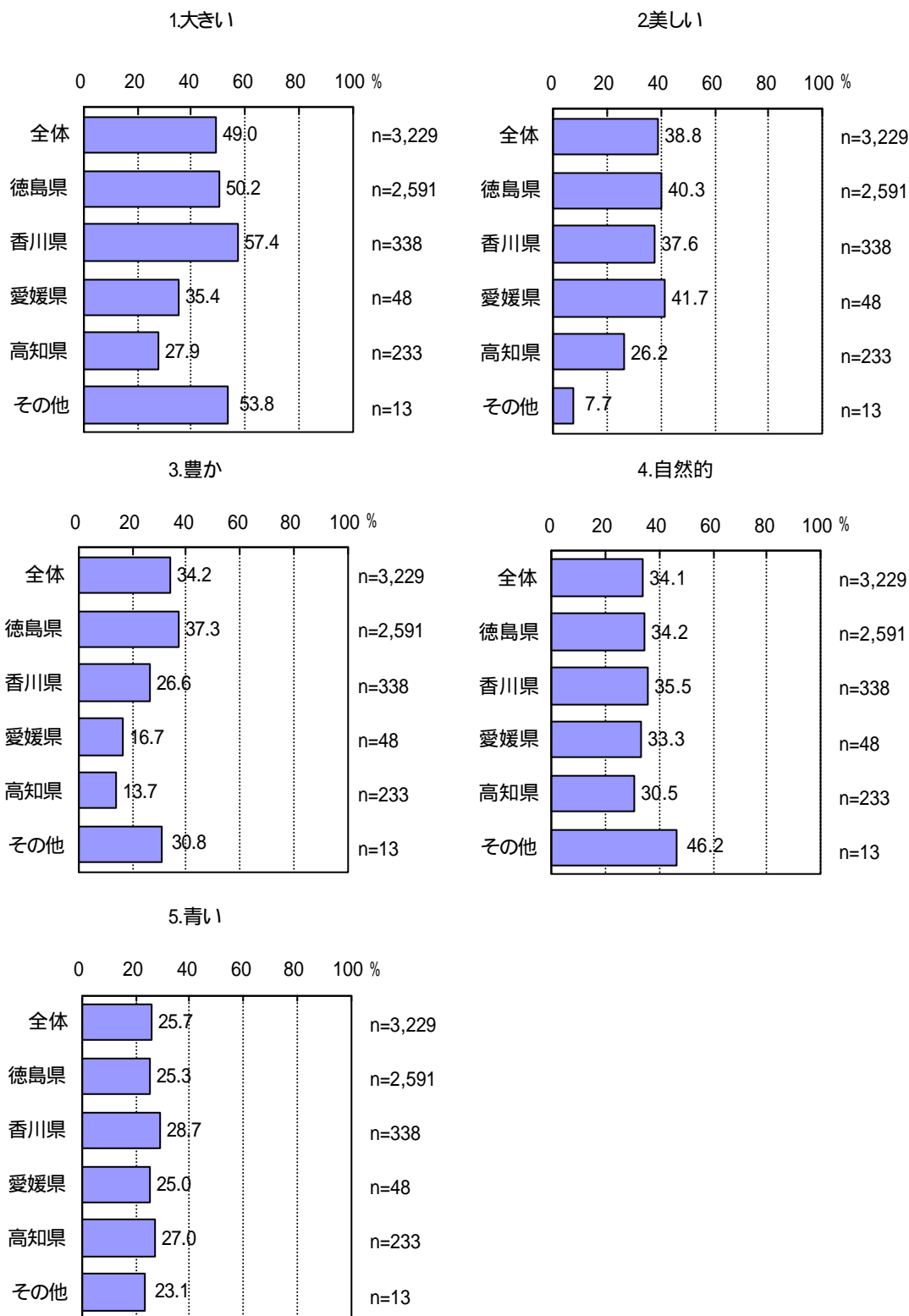
- ・「大きい」とする人の割合は下流地区、その他の地区では多く、源流地区、上流では少なくなっている。
- ・「美しい」とする人の割合は源流地区では少なくなっている。
- ・「豊か」とする人の割合は源流地区で少なくなっている。
- ・「自然的」「青い」とする人の割合は、地区による差はほとんどない。

[4]吉野川のイメージ「距離別」(図 -5)



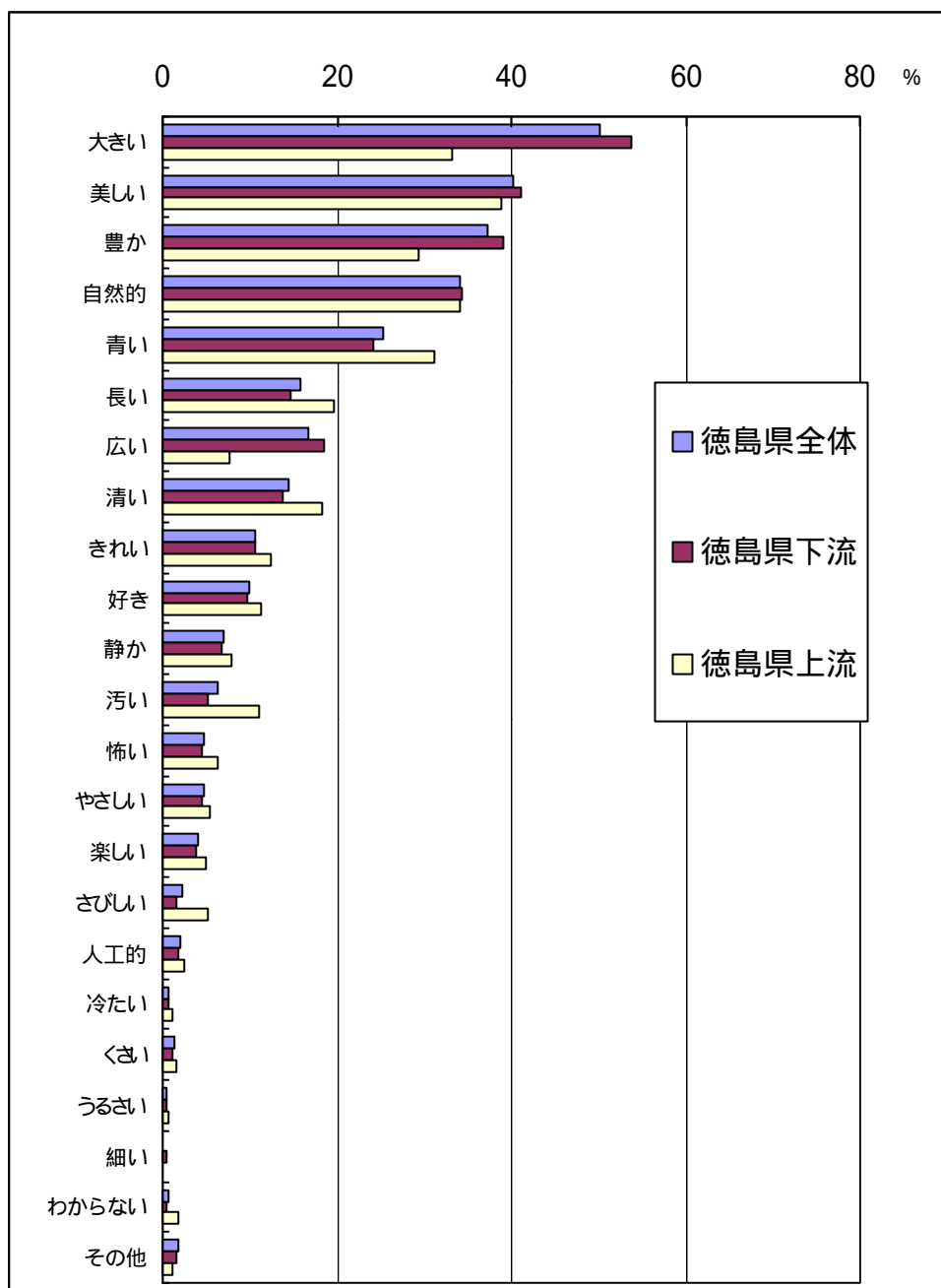
- ・川からの距離が遠くなるほど「大きい」とイメージする人の割合が多くなっている。
- ・「豊か」をイメージする人は、およそ4 km未満(自転車で行ける距離)の人が多くなっている。
- ・その他「美しい」「自然的」「青い」では、距離別による回答者の割合に大きな差はない。

[5]吉野川のイメージ「県別」(図 -6)



- ・ 県別に見ると、回答者数が多い徳島県では、全体平均とほぼ同様の結果となっている
- ・ 香川県では「大きい」とする人の割合が多くなっている。
- ・ 高知県では「青い」を除いた全項目で全体平均より少なくなっている。
- ・ 愛媛県では「美しい」とする人の割合が多く、「大きい」「豊か」とする人は少なくなっている。

[6]吉野川のイメージ「徳島県内上下流別」(図 -7)



上位5項目について見てみると

- ・下流地区では、「大きい」「豊か」とイメージする人の割合が上流地区より多くなっている。
- ・上流地区では、「青い」をイメージする人の割合が下流地区より多くなっている。

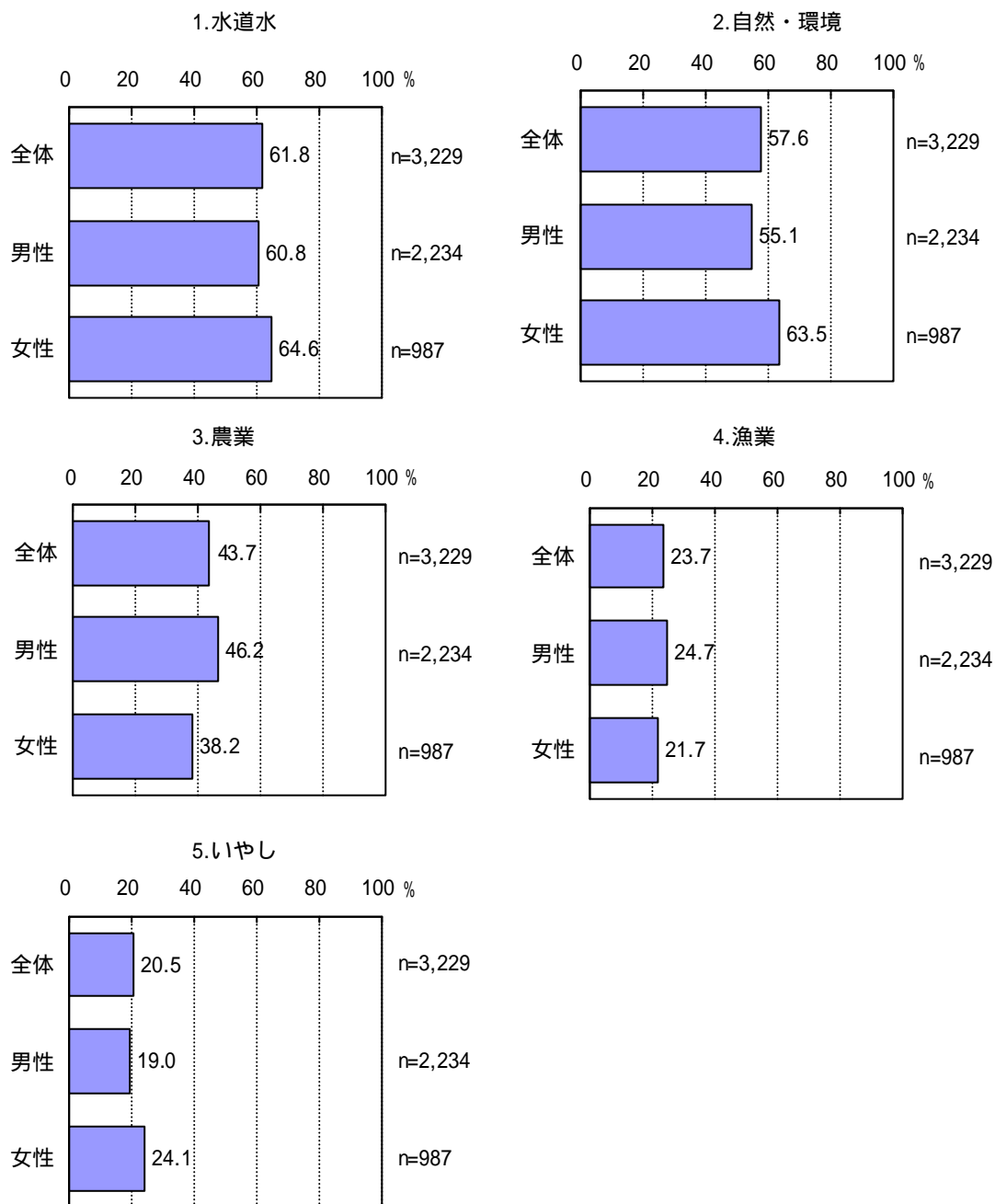
全体で見ると

- ・下流地区では、「大きい」「豊か」「広い」とイメージする人の割合が上流地区より多くなっている。
- ・上流地区では「青い」「長い」「清い」「汚い」などの割合が県内全体より多くなっている一方、「大きい」「豊か」「広い」などの割合が少なくなっている。

3.吉野川の恵み

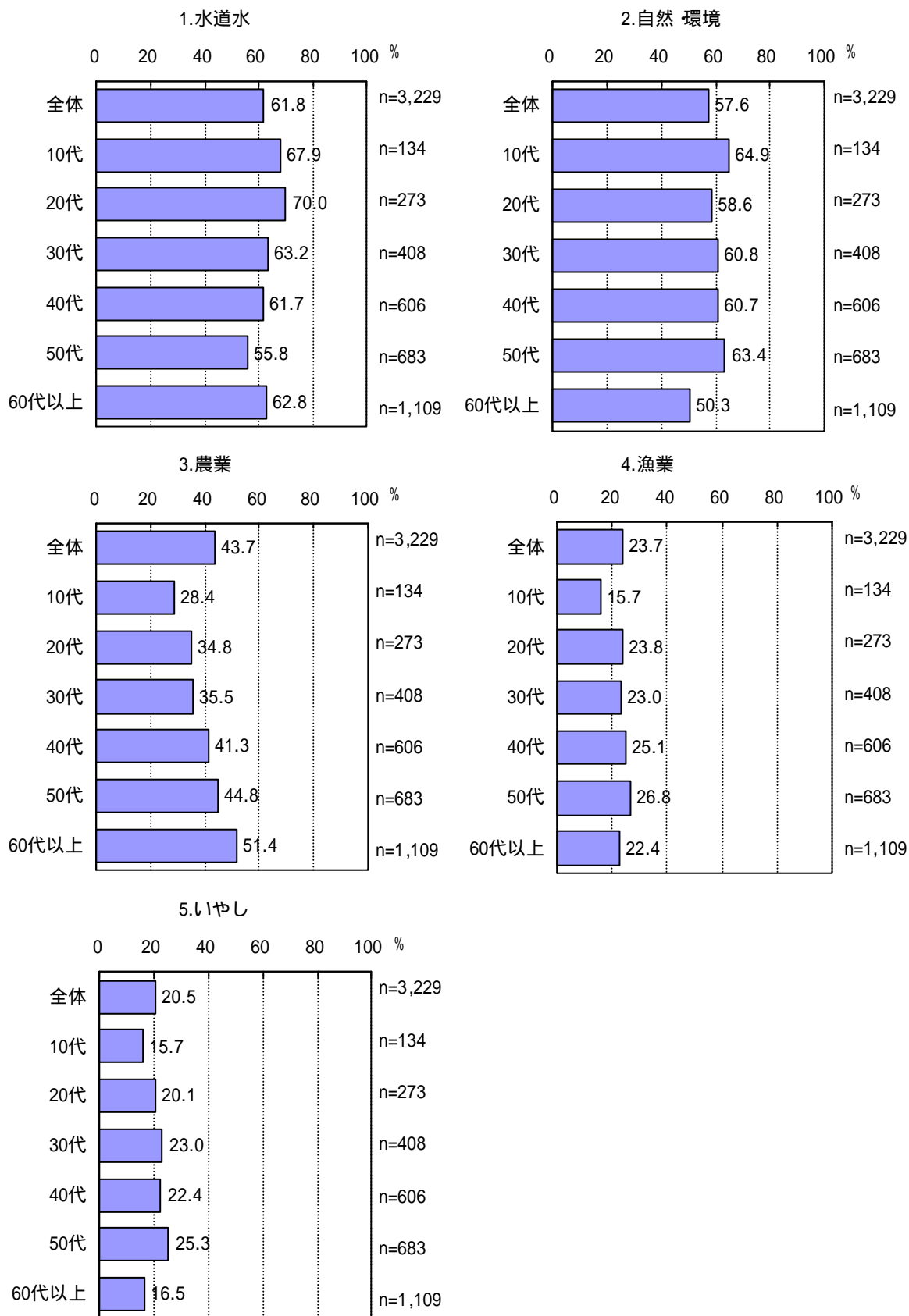
・吉野川の恵みについて上位5項目までを属性別にみた結果を示す。

[1]吉野川からの恵みのイメージ「性別」(図 -8)



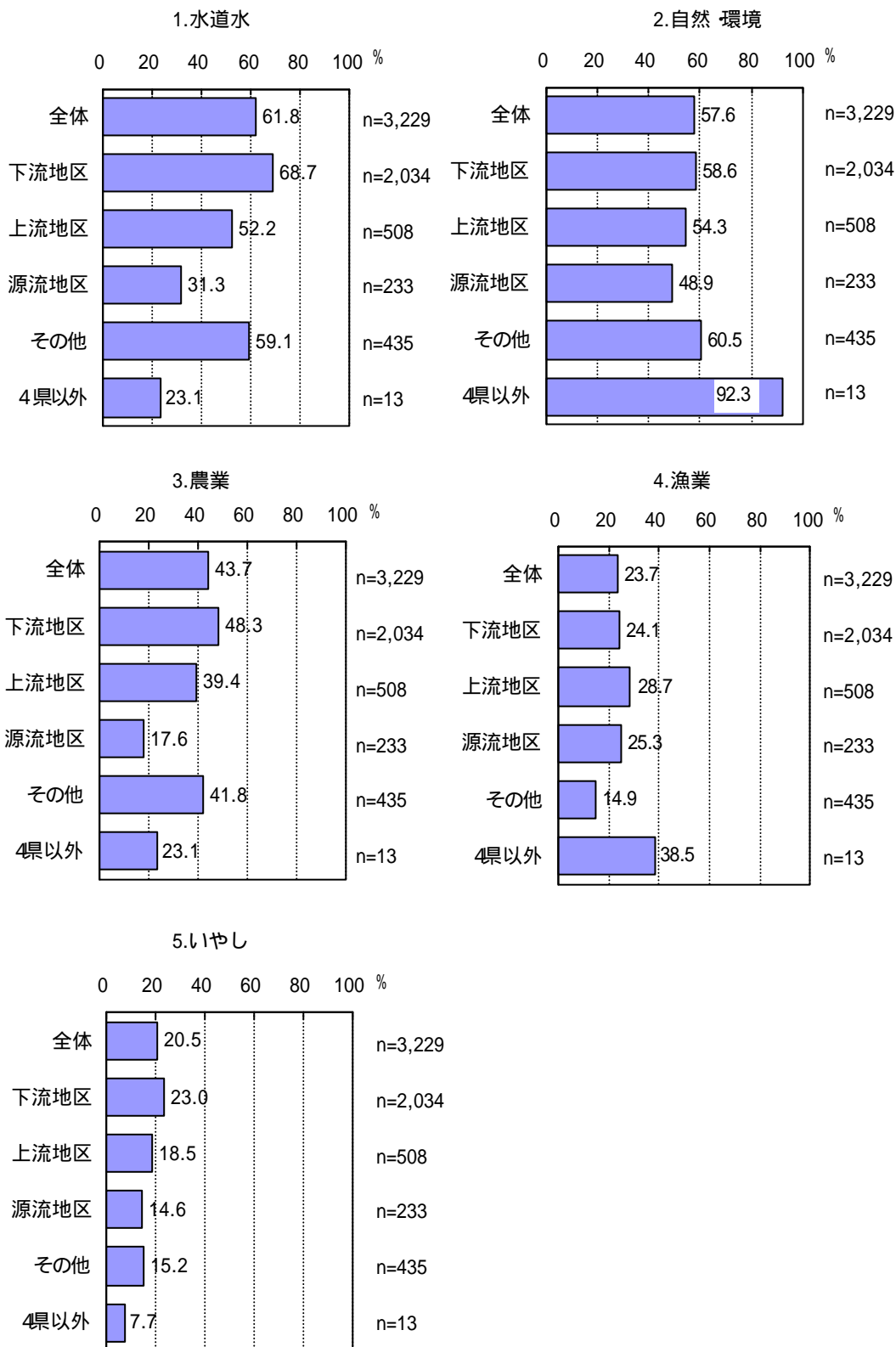
・女性では「水道水」「自然・環境」「いやし」をイメージする人の割合が全体平均より多く、「農業」をイメージする人は少なくなっている。

[2]吉野川からの恵みのイメージ「年代別」(図 -9)



- ・吉野川の恵みとして「水道水」をあげる人は、10代、20代に多く、50代では少なくなっている。
- ・「農業」「漁業」「いやし」をあげる人は40代以上で多くなっている。

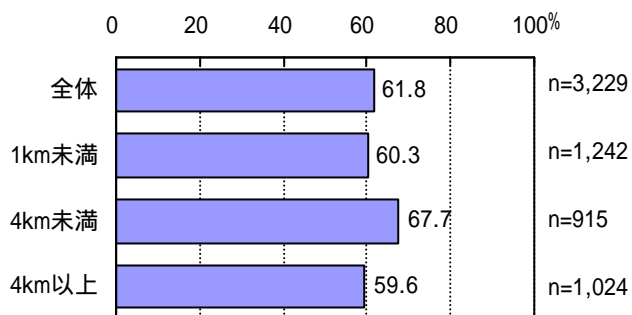
[3]吉野川からの恵みのイメージ「地区別」(図 -10)



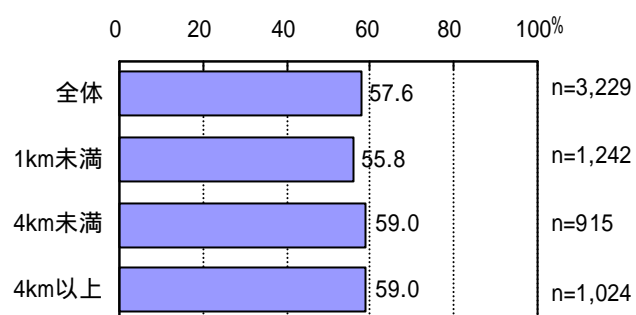
- ・下流地区では「水道水」「農業」をイメージする人の割合が全体平均より多くなっている。
- ・上流地区では「水道水」「農業」をイメージする人の割合は少なく、「漁業」をイメージする人が多くなっている。
- ・源流地区では「漁業」を除く項目で全体平均より少なくなっている。

[4]吉野川からの恵みのイメージ「距離別」(図 -11)

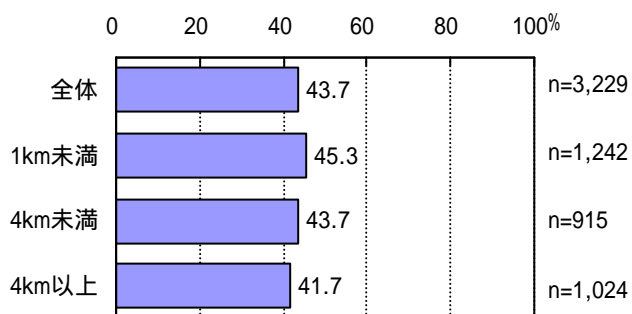
1.水道水



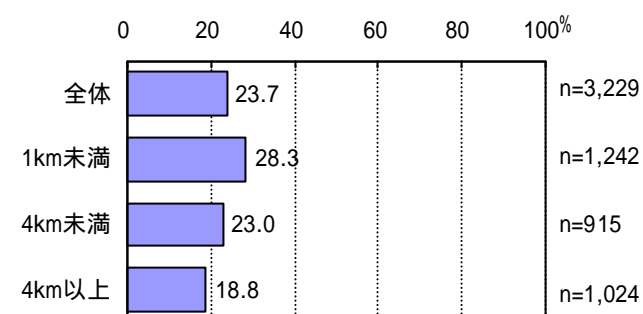
2.自然・環境



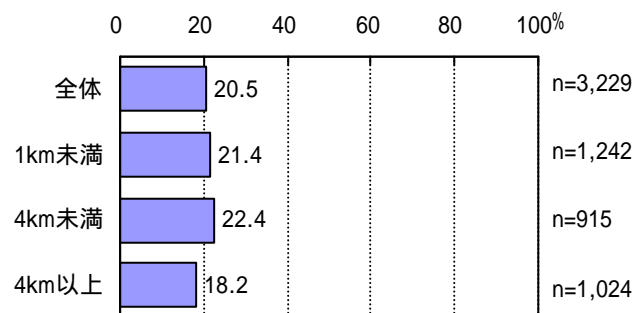
3.農業



4.漁業

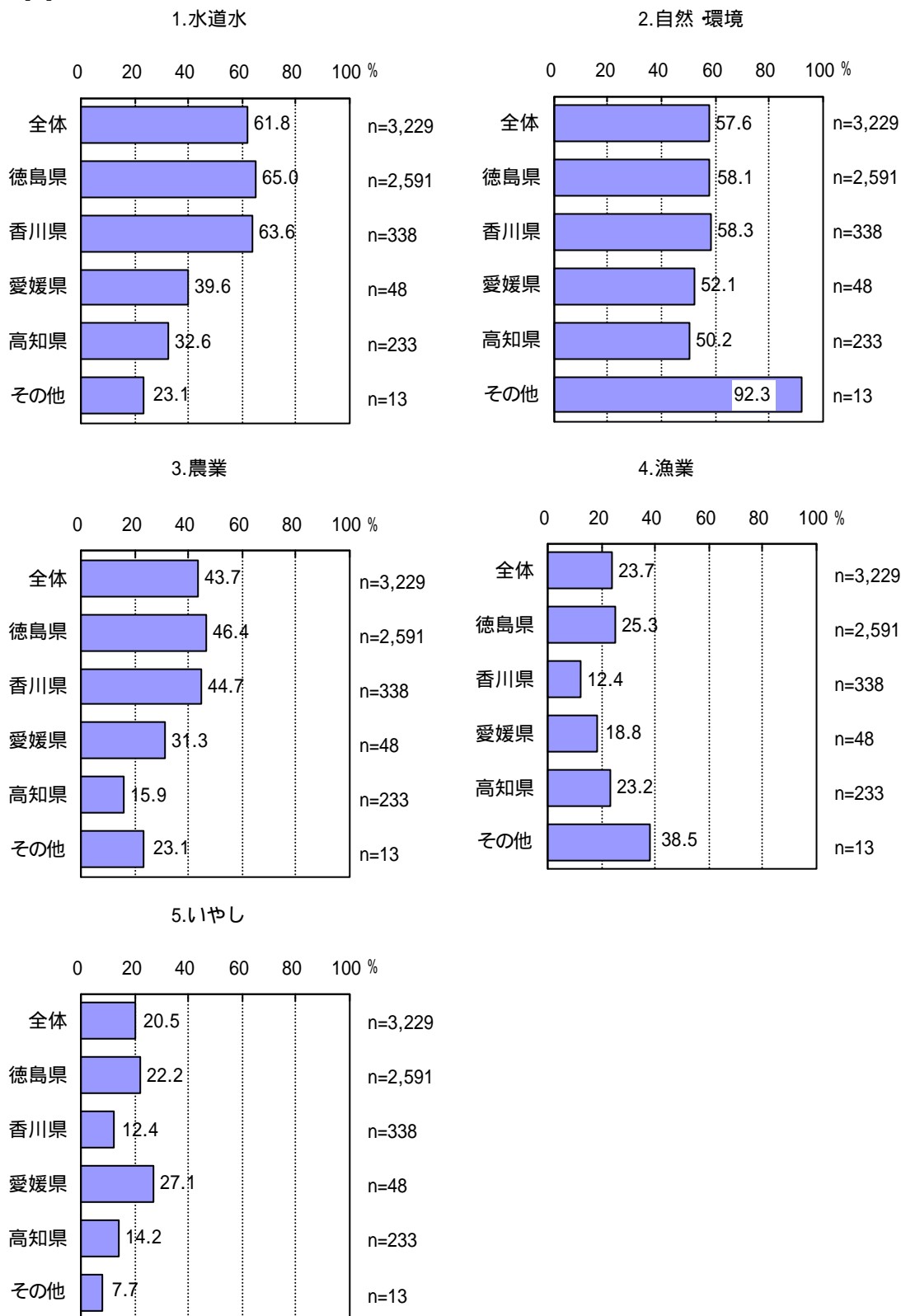


5.いやし



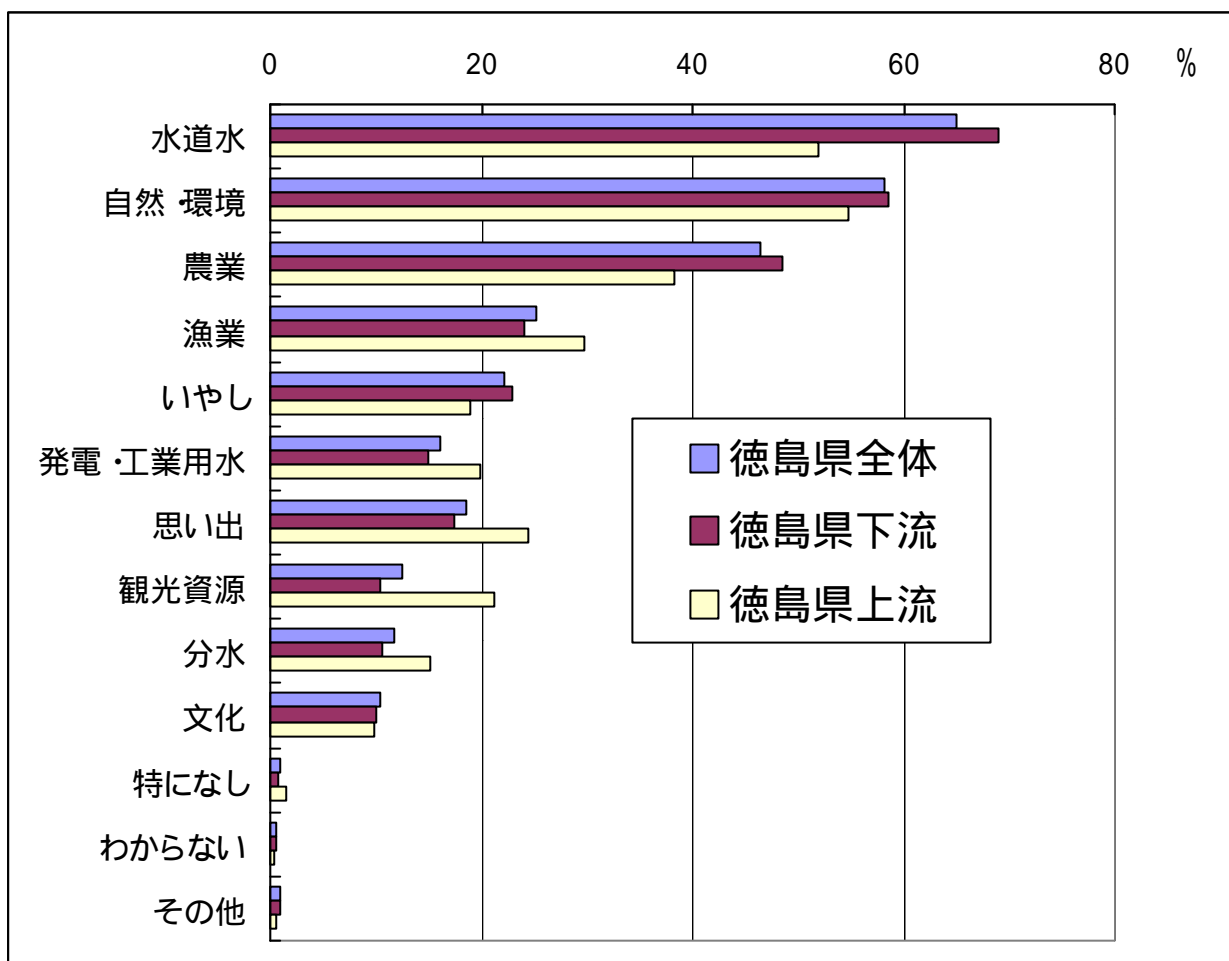
- ・「水道水」をイメージする人の割合はおよそ4 km未満（自転車で行ける距離）の人に多くなっている。
- ・「漁業」をイメージする人の割合はおよそ1 km未満（徒歩で行ける距離）の人に多くなっている。
- ・その他「自然・環境」や「農業」などでは、距離別による回答者の割合に大きな差はない。

[5]吉野川からの恵みのイメージ「県別」(図 -12)



- ・「水道水」「農業」をイメージする人の割合は愛媛県、高知県で少なくなっている。
- ・「いやし」をイメージする人の割合は愛媛県で多くなっている。

[6]吉野川からの恵みのイメージ「徳島県内・上下流別」(図 -13)



上位5項目について見てみると

- ・下流地区では、「水道水」「農業」をイメージする人の割合が上流地区より多くなっている。
- ・上流地区では、「漁業」をイメージする人の割合が下流地区より多くなっている。

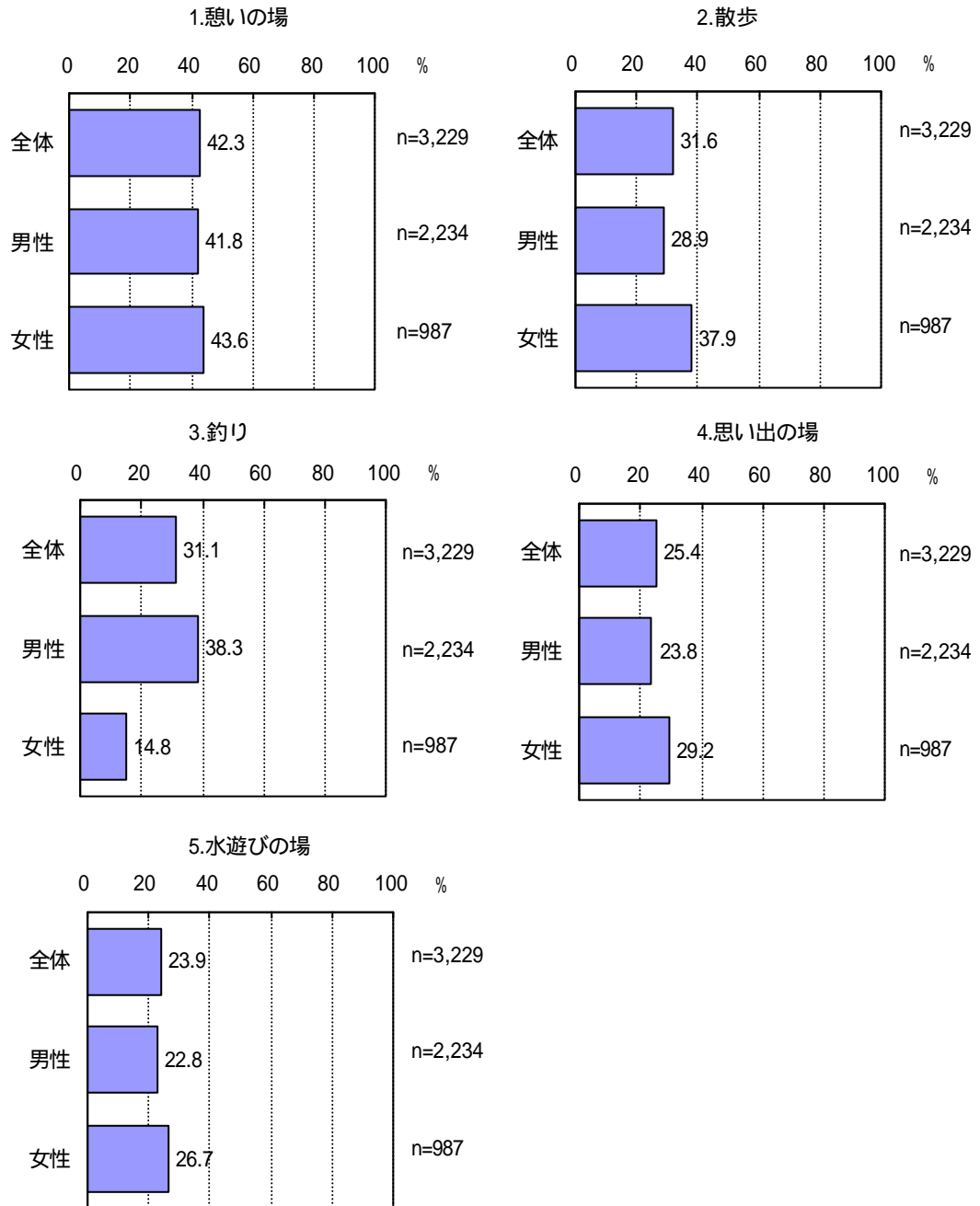
全体で見ると

- ・下流地区では、「水道水」「農業」をイメージする人の割合が上流地区より多くなっている。
- ・上流地区では、「漁業」「発電・工業用水」「思い出」「観光資源」「分水」をイメージする人の割合が下流地区より多くなっている。
- ・「自然・環境」「いやし」「文化」についてみると上流地区と下流地区には大きな差はない。

4.吉野川とあなたのつきあい方について

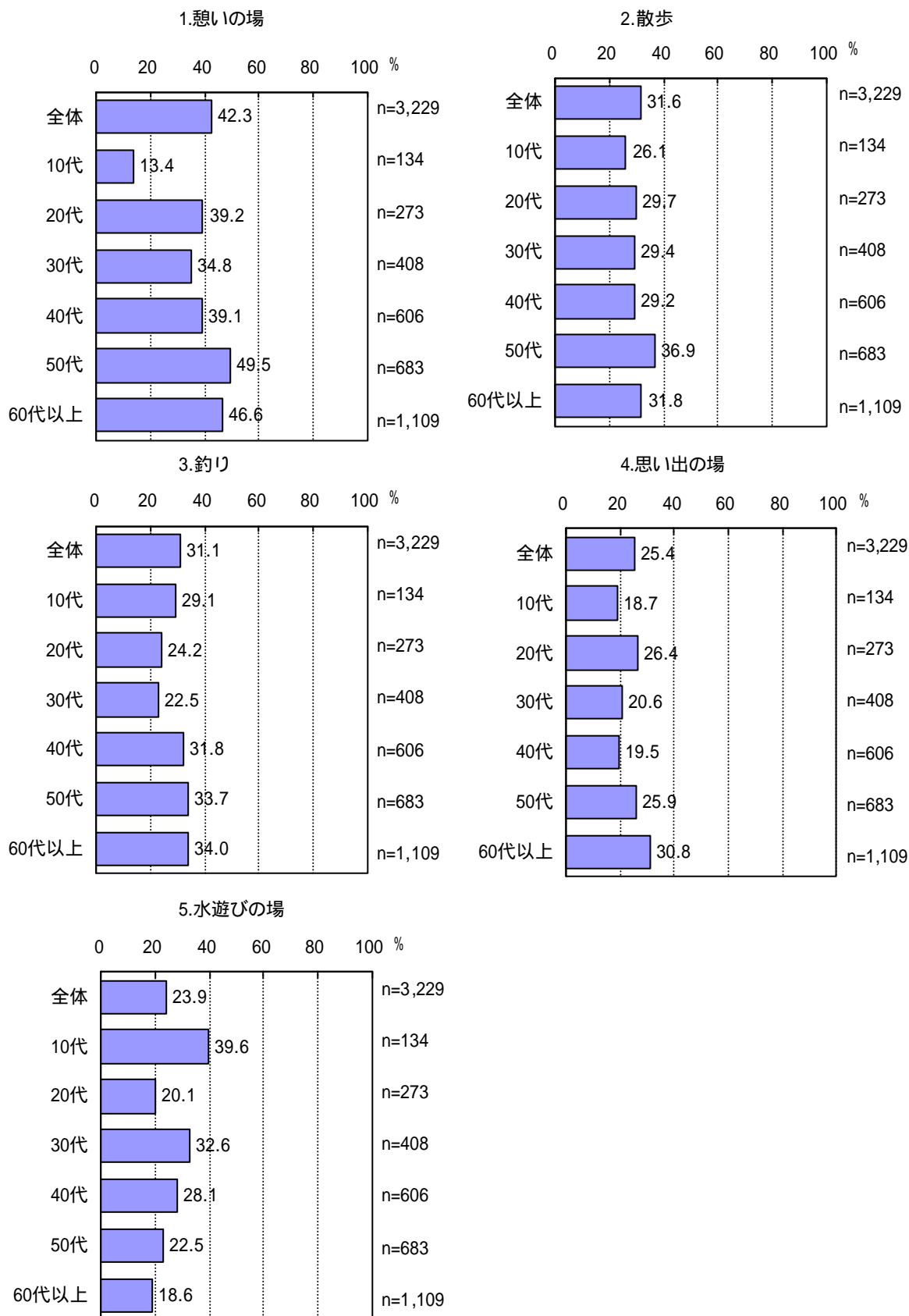
・吉野川とのつきあい方について上位5項目までを属性別にみた結果を示す。

[1]吉野川とのつきあい方「性別」(図 -14)



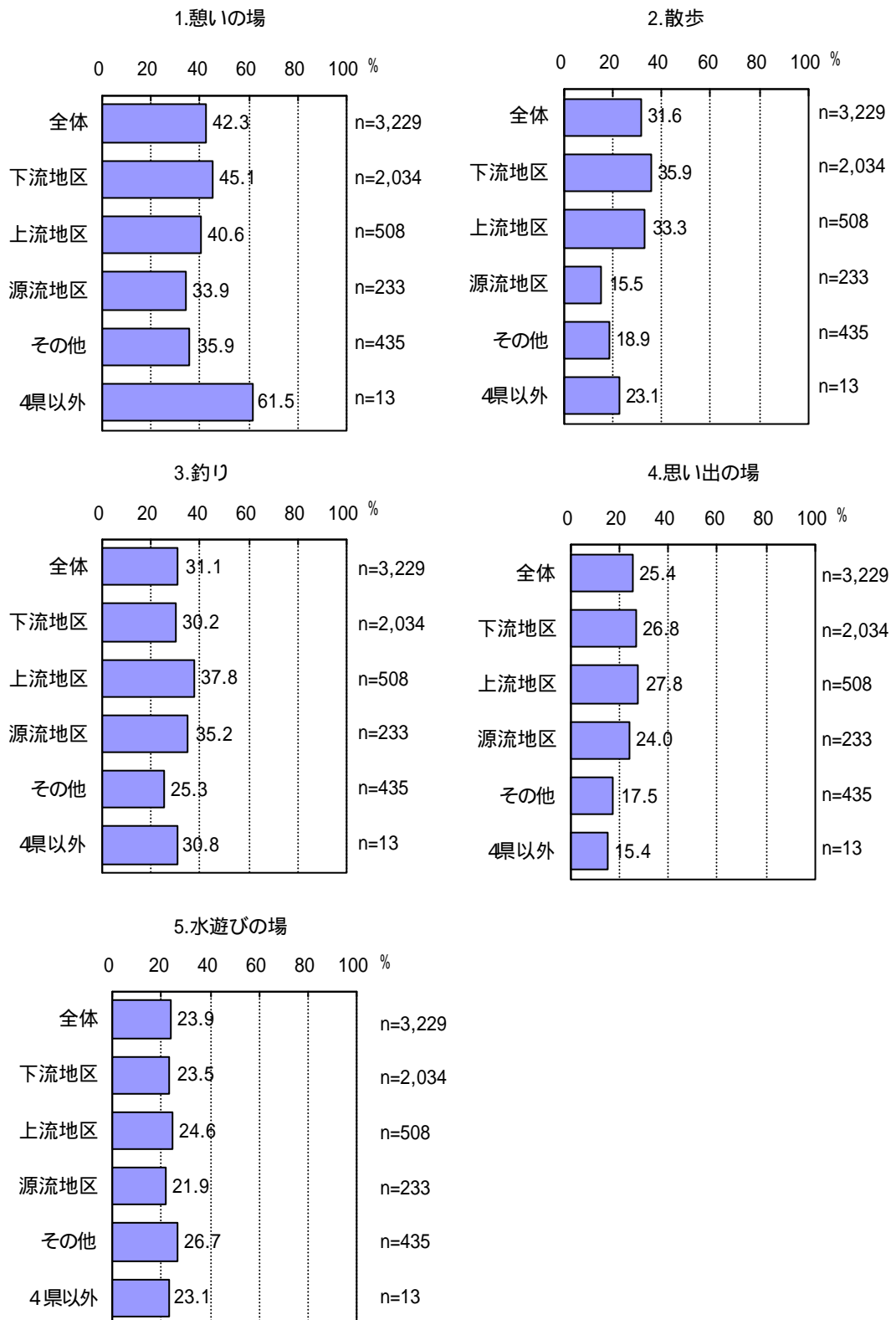
・吉野川との付き合い方をみると、男性は「釣り」を望む人の割合が多く、女性は「散歩」「思い出の場」が多くなっている。

[2]吉野川とのつきあい方「年代別」(図 -15)



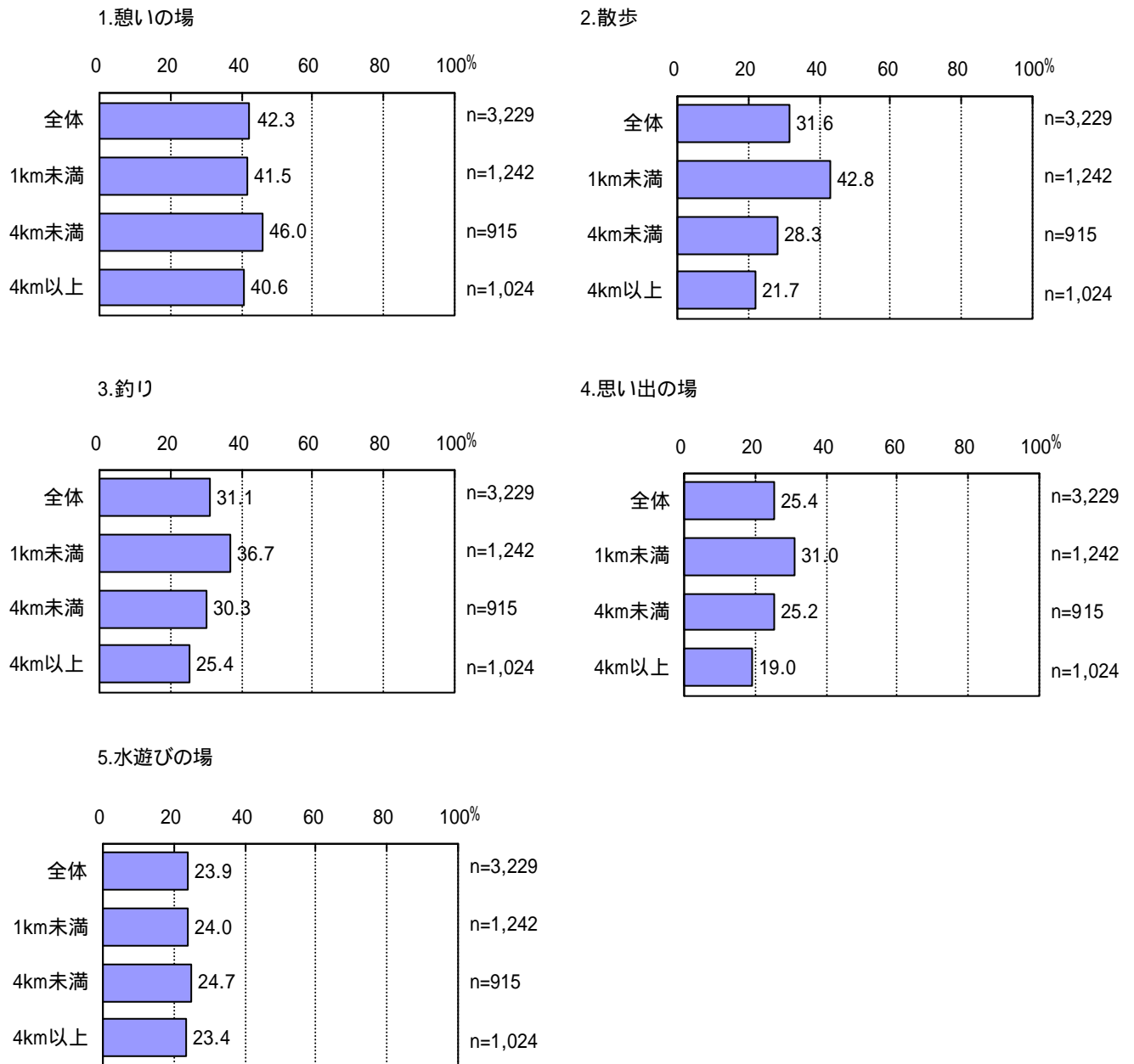
- ・「憩いの場」「散歩」「釣り」「思い出の場」では50代以上の人の割合が多くなっている
- ・「水遊びの場」とする人は10代、30代に多くなっている。

[3]吉野川とのつきあい方「地区別」(図 -16)



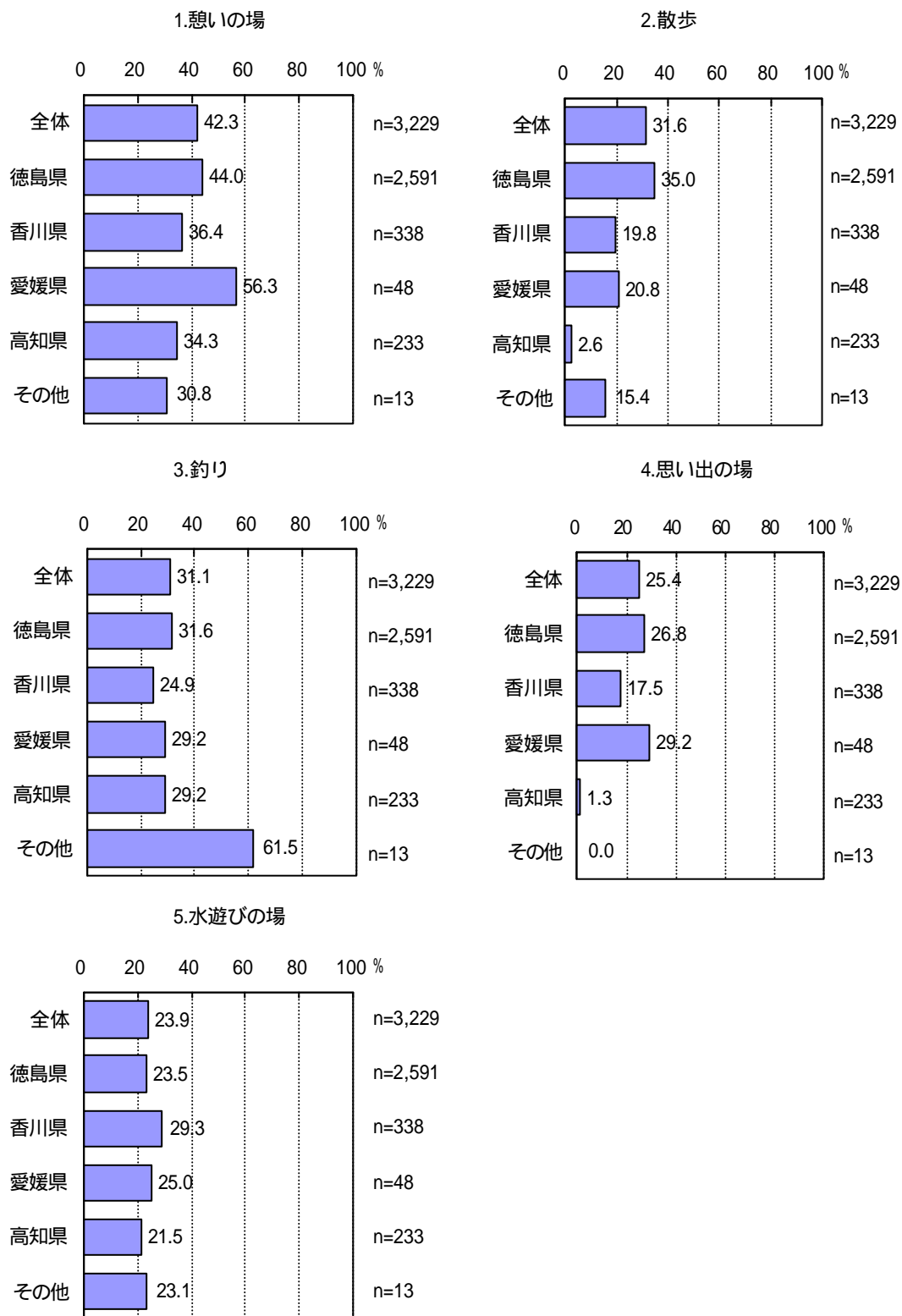
- ・下流地区では「憩いの場」「散歩」をあげる人の割合が多くなっている。
- ・上流地区では「憩いの場」「散歩」「釣り」をあげる人の割合が多くなっている。
- ・源流地区では「憩いの場」「散歩」をあげる人の割合は少なく、「釣り」をあげる人が多くなっている。

[4]吉野川とのつきあい方「距離別」(図 -17)



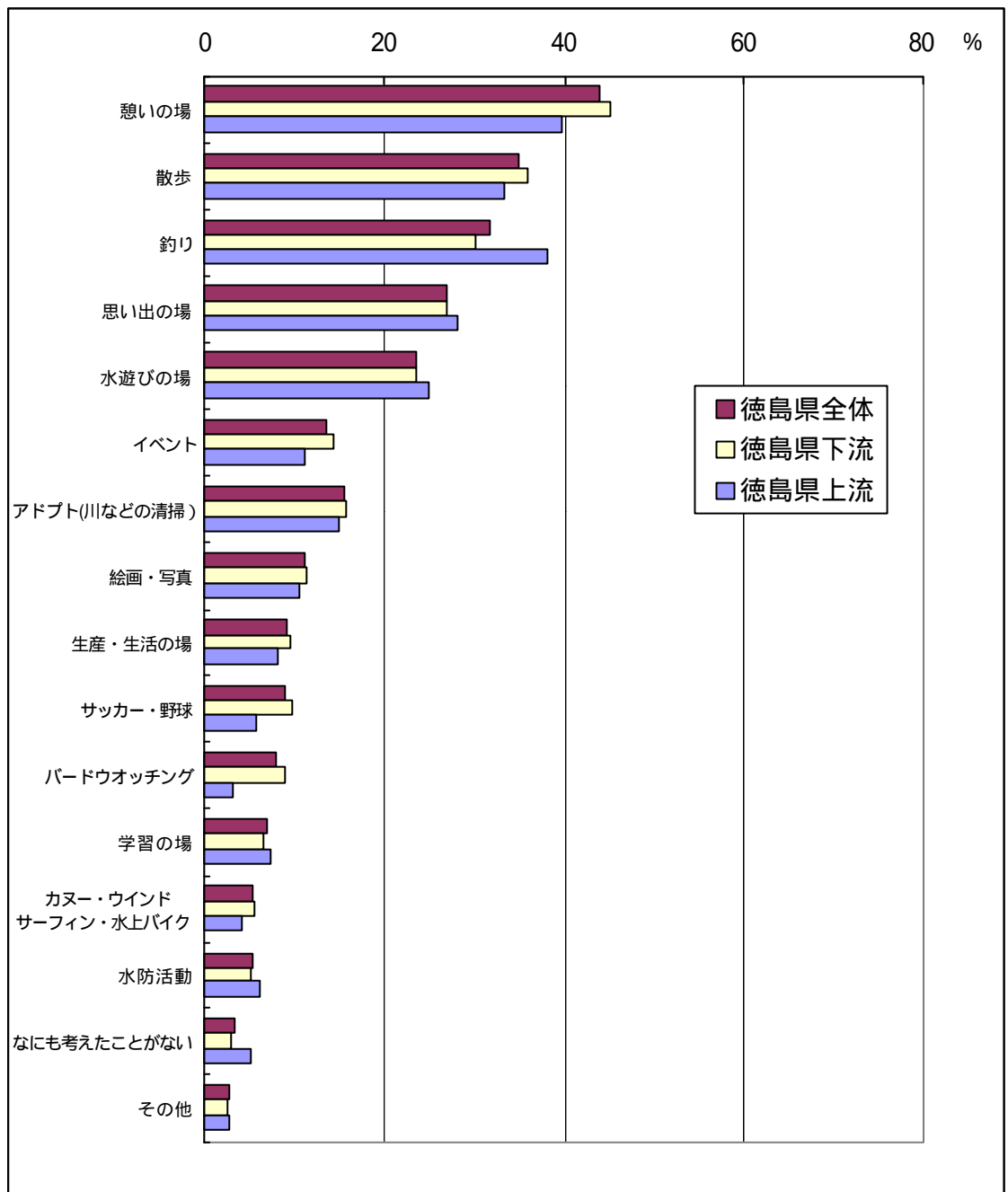
距離別に付き合い方をみると、およそ1km未満(徒歩で行ける距離)の人では、「散歩」に利用する人の割合が多くなっている。また「釣り」「思い出の場」の割合も多くなっている。

[5]吉野川とのつきあい方「県別」(図 -18)



- ・香川県では「水遊びの場」の割合が多くなっている。
- ・愛媛県では「散歩」「思い出の場」で多くなっている。
- ・高知県では「散歩」「思い出の場」の割合が少なくなっている。

[6]吉野川とのつき合い方「徳島県内上下流別」(図 -19)



上位5項目について見てみると

- ・上流地区では、「釣り」をイメージする人の割合が下流地区より多い。
- ・下流地区では、「憩いの場」「散歩」での利用者の割合が上流地区より多くなっている。

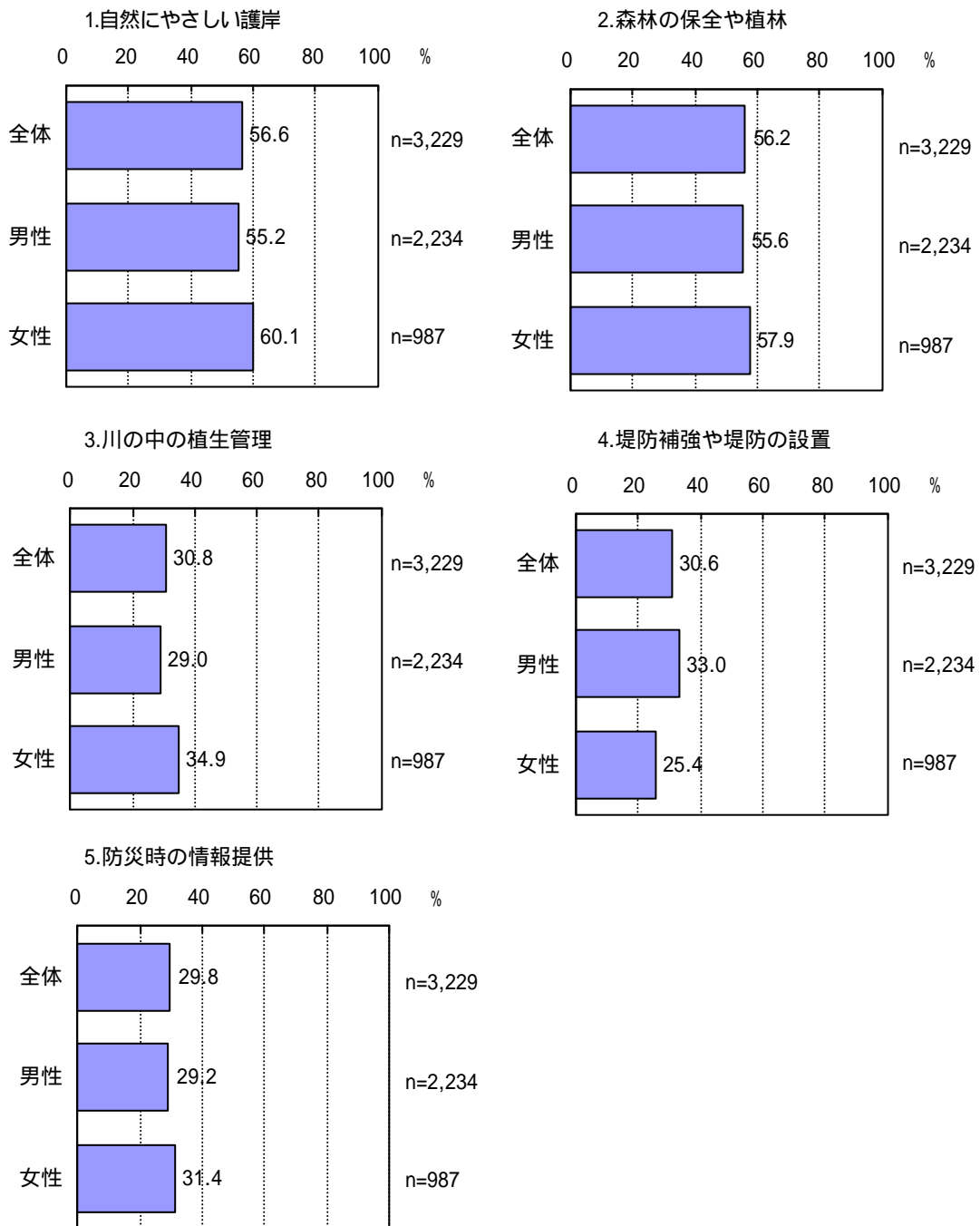
全体で見ると

- ・上流地区では「釣り」をあげる人の割合が下流地区より多くなっている。
- ・一方、下流地区では「憩いの場」「サッカー・野球」「バードウォッチング」での利用者の割合が上流地区より多くなっている。

5.安全で安心なうるおいある暮らしのために

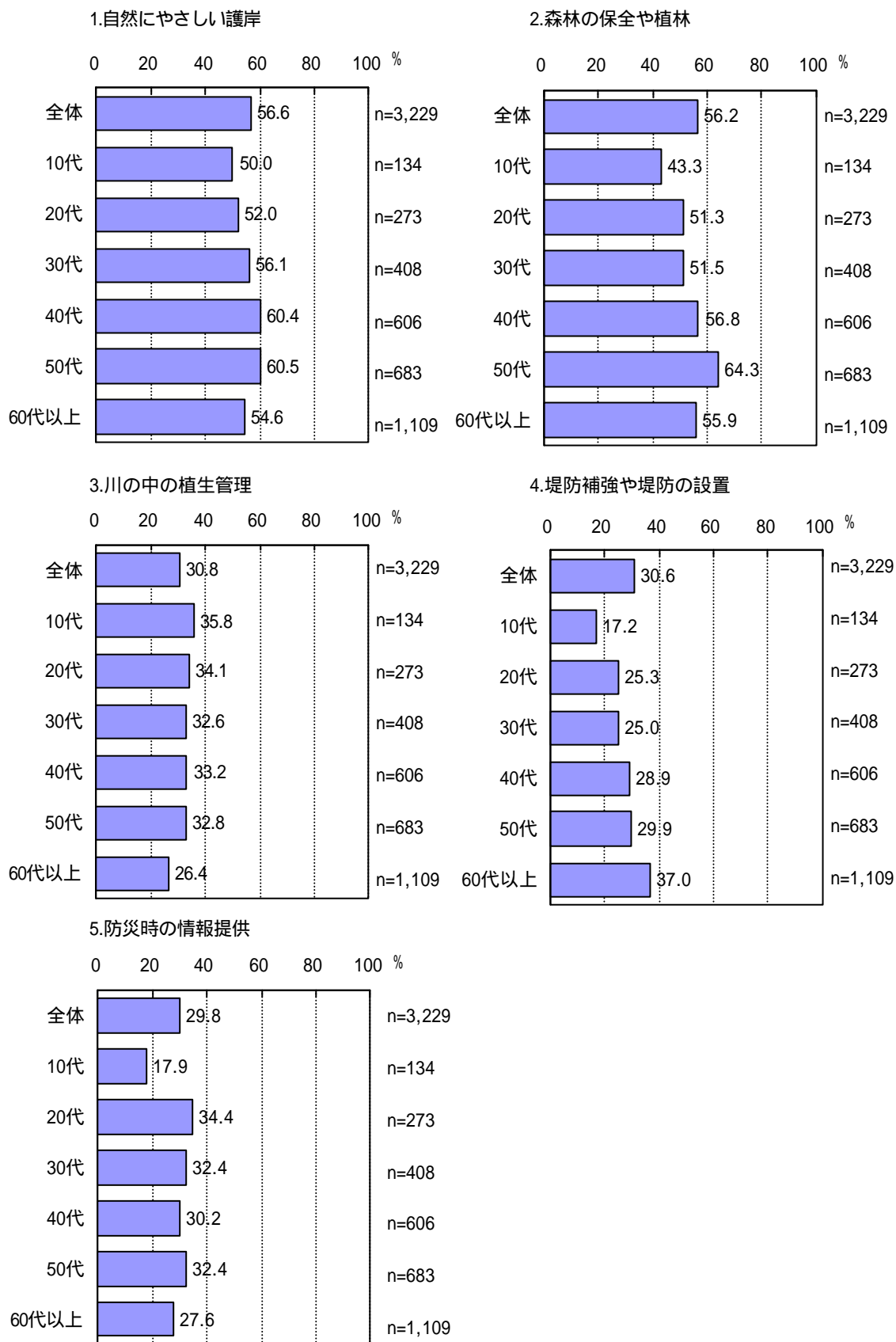
- ・安全で安心なうるおいある暮らしのために必要な項目の上位5項目までを属性別にみた結果を示す。

[1]何が必要だと思うか「性別」(図 -20)



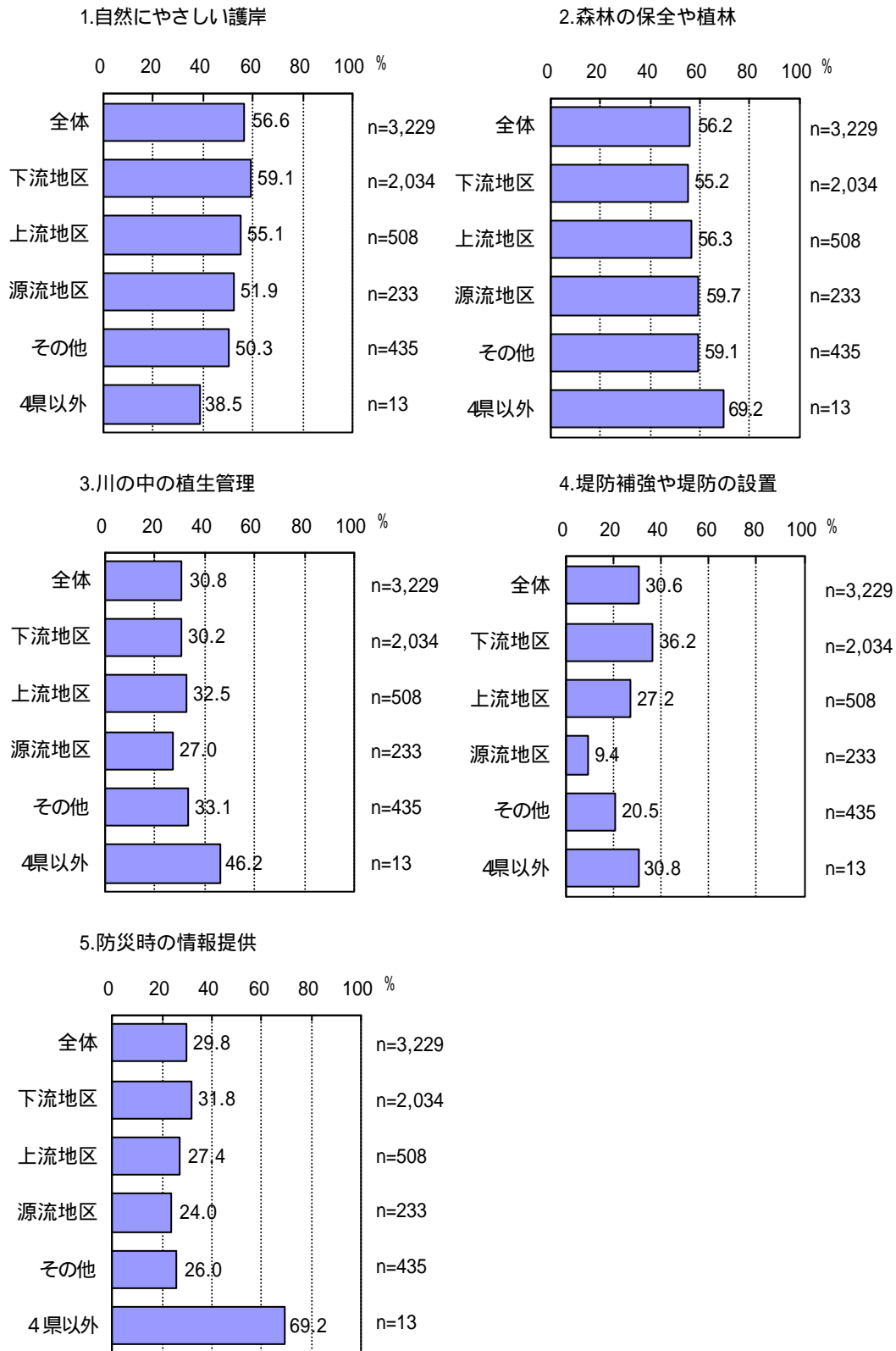
- ・「堤防補強や堤防の設置」を除くいずれの項目も、女性の割合が多くなっている。

[2]何が必要だと思うか「年代別」(図 -21)



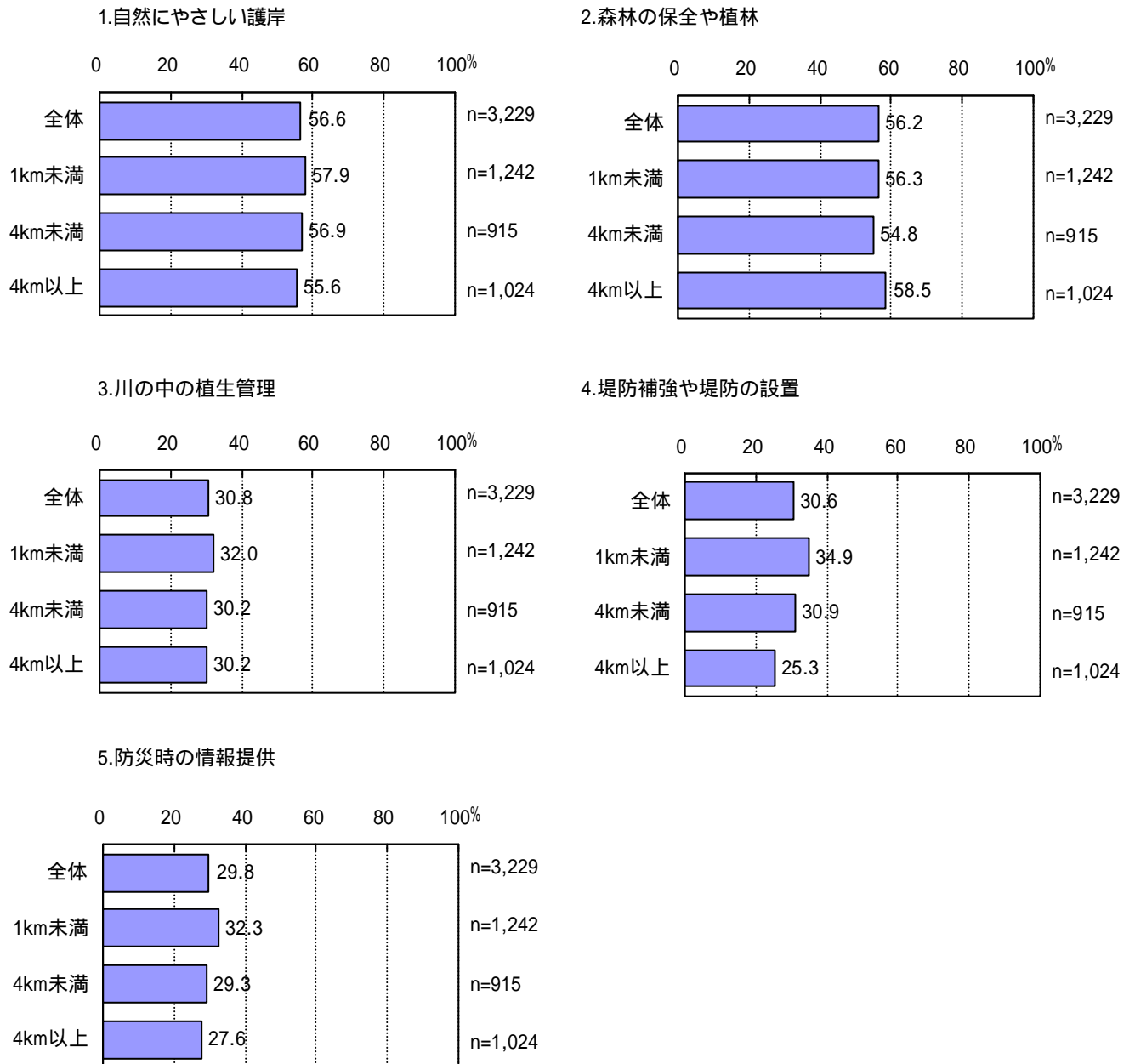
・「自然にやさしい護岸」「森林の保全や植林」「堤防補強や堤防の設置」を必要とする人の割合は、年齢が上がるほど多くなっている。

[3]何が必要だと思うか「地区別」(図 -22)



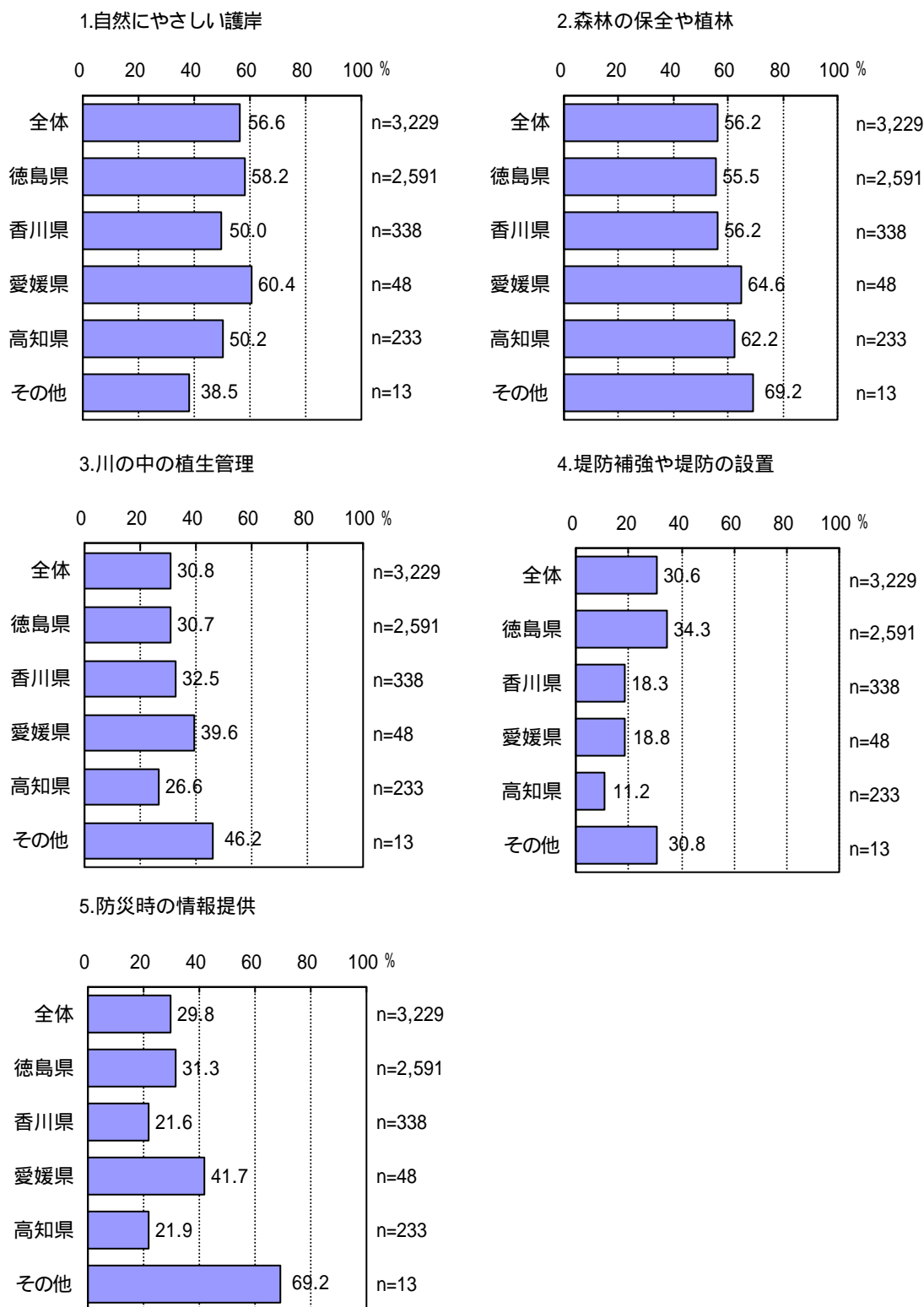
- ・「自然にやさしい護岸」を必要とする人の割合は下流地区では多く、源流地区、その他の地区では少なくなっている。
- ・「堤防補強や堤防の設置」を望む人の割合は下流地区では多く、源流地区では少なくなっている。

[4]何が必要だと思うか「距離別」(図 -23)



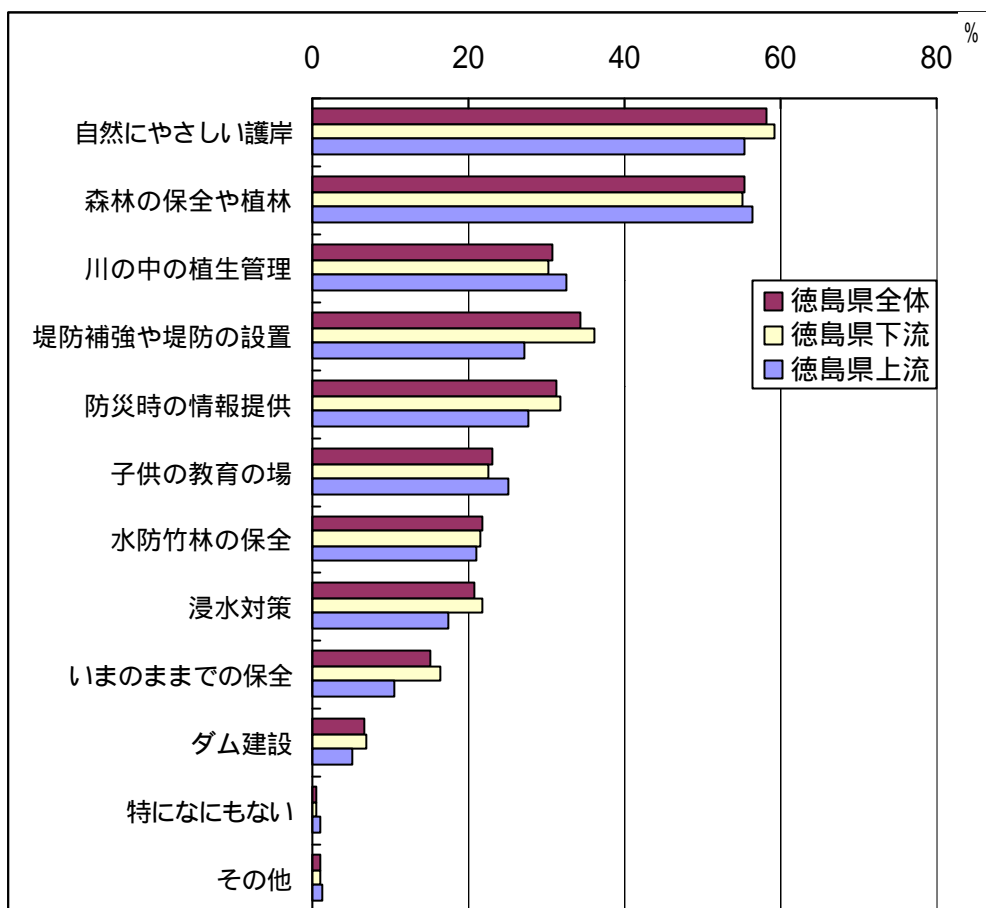
・距離別に、安全で安心な暮らしのために必要な項目をみたところ、「堤防補強や堤防の設置」を望む人の割合は川に近い人ほど多く、他の項目では距離別による回答傾向にはほとんど差はない。

[5]何が必要だと思うか「県別」(図 -24)



- ・各県とも「森林の保全や植林」を望む人の割合は多くなっている。
- ・徳島県では「堤防補強や堤防の設置」を必要とする人の割合が多くなっている。
- ・香川県、高知県では「堤防補強や堤防の設置」「防災時の情報提供」を必要とする人の割合は少なくなっている。
- ・愛媛県では「堤防補強や堤防の設置」を除くいずれの項目でも割合が多くなっている。

[6]何が必要だと思うか「徳島県内上下流別」(図 -25)



上位5項目について見てみると

- ・上流地区では、下流地区に比べ「防災時の情報提供」「堤防の補強や堤防の設置」を望む人の割合は少なくなっている。

全体で見ると

- ・上流地区では下流地区に比べ「防災時の情報提供」「堤防補強や堤防設置」「いまのままでの保全」を望む人の割合は少なくなっている。
- ・他の項目では上流と下流での差はほとんどない。

6. 吉野川の将来像

[1]吉野川の将来像「性別」(図 -26)

・治水や利水については、男性の割合が多くなっている一方、水質や自然などの環境については女性の割合が多くなっている。

[2]吉野川の将来像「年代別」(図 -27)

・10代では「美しい、清らか、きれいな川であってほしい」「虫・生物・魚のいる川」を望む人の割合が多くなっている。

・20代から40代では「これ以上変えないで(今のまま・人工的にしないで)川との共存・共栄」を望む人の割合が多くなっている。

・その他の年代では全体傾向との差は小さい。

[3]吉野川の将来像「地区別」(図 -28)

・「これ以上変えないで(今のまま・人工的にしないで)川との共存・共栄」を望む人の割合は、上流地区、下流地区で多くなっている。

・「自然と調和している・自然が豊か」、「美しい、清らか、きれいな川であってほしい」を望む人の割合はその他の地区で多い。

[4]吉野川の将来像「距離別」(図 -29)

・川からの距離に関係なく「これ以上変えないで(今のまま・人工的にしないで)川との共存・共栄」を望む人の割合が多くなっている。

[5]吉野川の将来像「県別」(図 -30)

・徳島県では「これ以上変えないで(今のまま・人工的にしないで)川との共存・共栄」を望む人の割合が多くなっている。

・香川県では「美しい、清らか、きれいな川であってほしい」「虫・生物・魚のいる川」を望む人の割合が多くなっている。

・愛媛県では「親しみの持てる川(いやされる川)」を望む人の割合が多くなっている。

・高知県では「森林の植林や堤防補強により治水対策を」を望む人の割合が多くなっている。

[6]吉野川の将来像「徳島県内上下流別」(図 -31)

・徳島県内の上流地区、下流地区別に将来像をみたところ、「上流・下流をきれいにし、山川を守る」をあげる人の割合が上流地区で多くなっているが、その他の項目では大きな差はない。

7. よりよい吉野川づくりのために

[1]みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)について

項目別のグラフを(図 -32)に示す。

[2]みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)の「準備会」について

項目別グラフを(図 -33)に示す。

8. みなさま方のご自由なご意見ご提案として

項目別のグラフを(図 -34)に示す。